



社会

地域社会との共生および発展への貢献

コミュニティの発展

社会貢献活動



コミュニティの発展



地域社会のみなさまとともに

ジャトコグループは、地域社会に愛される「よき企業市民」となることを目指しています。企業活動は地域社会とのかかわりの中で営まれるものであり、コミュニティの一員として主体的に社会とのかかわり、さまざまな形で地域社会に貢献することが重要な責務と考えます。

ジャトコグループの技術やアセットを活かした地域課題解決に積極的に参画することで「その地域にあってよかった」と思っていただけことは企業にとっても有益であり、地域と企業が互いに成長し発展していくことにつながります。例えば、自動車用ユニットの技術を活かして電動自転車用ドライブユニットを新たに開発し、地域が抱える観光振興や健康増進などの課題解決とともにチャレンジしています。また、岳南電車「ジャトコ前」駅の花壇を整備し、地域のみなさまに生活の豊かさを提供しています。

複雑化する社会課題に対応しながら、ジャトコグループは常に地域社会との対話を通じた地域活性化や社会・環境課題の解決に貢献していきます。



花咲く*ジャトコ前駅プロジェクト

八木地区：従業員による吉富駅「お色直し」

京都府南丹市八木町にある吉富駅は、八木工場の従業員の多くが利用しており、少しでも力になれるよう継続的に清掃を行っています。2023年11月には従業員と南丹市職員の方々と合同で延べ90名のご協力のもと吉富駅の「お色直し」を行い見違えるほどきれいになりました。

これからもいつもお世話になっている駅を大事に使っていくようにいろいろな活動に取り組んでいきます。



富士地区：自転車を活用したまちづくりへの参画

ジャトコではクルマで培ってきた技術をもとに電動アシスト自転車用ドライブユニットの開発を行っています。一方で、2022年3月に本社を構える富士市と自転車を活用したまちづくりに関する協定を結び地域課題へのチャレンジを進めています。2023年には地域の企業や団体とともに社会実験を実施するなど、地域まちづくり活動へ参画しています。



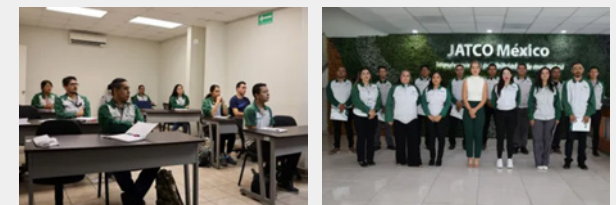
中国：子ども向けモノづくり体験

ジャトコ〔広州〕自動変速機有限公司は、地域の子どもたちを対象にクルマが走る仕組みを学ぶプログラムを実施しています。これは「見る」「聞く」「触る」などの体験を通じて、楽しくCVTの機構を学ぶ体験型のプログラムです。そして、現在このプログラムは中国 広州にとどまらず、広東省の子どもたちにまで活動の場を広げています。



メキシコ：高卒認定講座開講

ジャトコメキシコ社では、家庭の都合などで高校に通えなかったり、卒業できなかったりした従業員を対象に、社内で働きながら高卒認定を受けられるようにする講座を2021年より開講しています。本講座は2023年までに計4期開催され、計100名以上の卒業生を輩出しております。ジャトコメキシコ社は高校卒業という目標を達成できるよう今後も支援していきます。



社会貢献活動



3つの重点分野「環境」「教育」「福祉」

ジャトコグループの社会貢献活動は、従業員参加型スタイルが多くを占めるという特徴を持っています。

地域社会への貢献の取り組みとして「環境」「教育」「福祉」の3つの重点分野を設定し、実際に従業員が身体を動かす形で活動しているものがほとんどです。そして、各地域や現場で行う活動を通して、活動対象者からダイレクトな反応をもらえることも従業員にとっての大きなメリットとなります。



環境への貢献活動（一例）

富士市役所と共同で海岸清掃から富士山頂までの登山ルートの清掃活動を、ボランティアメンバーを募り実施しています。世界遺産の「富士山」の環境を守るだけでなく生態系の保護にも貢献しています。



富士山の山頂ゴミ拾いの様子

教育への貢献活動（一例）

ジャトコグループでは、地域の学校と連携し、子供たちのキャリア形成へのお手伝いをしています。地域の小中高校へ従業員が講師として伺い、モノづくりの楽しさや仕事のやりがい、苦労話、キャリア選択などに関するお話を通して、子供たちが自分の将来を考えるきっかけづくりを支援しています。



静岡県立富士高等学校 みらい講座の様子

福祉への貢献活動（一例）

知的障がいを持ったサッカー選手たちは、練習の成果を発揮するチャンスが限られています。そこでジャトコは、横浜F・マリノスと共同で、「ジャトコ×横浜F・マリノスフットーロカップ（現ジャトコカップ）」を2015年度から開催してきました。多くの知的障がいを持つ選手とそのチームが、本大会への出場を目標とし、改めてサッカーの楽しさを知るきっかけになるよう、サポートを続けます。



知的障がい者サッカー大会を支えた従業員ボランティアたち

社会貢献活動

生物多様性に配慮した活動の実施

私たちジャトコは、重点分野の1つである環境への貢献活動として生物多様性にも積極的に取り組んでいます。

地球の未来は、豊かな生態系と共に織りなされていきます。ジャトコは生物多様性の保全が持続可能な社会の礎であることを深く認識し、地域に根差した環境保全活動を通じて多様な生き物たちと共存できる世界を育んでいきます。

グローバルでの生物多様性の取り組み

ジャトコはグローバルで植樹を積極的に行っています。日本においては富士市が主催する富士山麓ブナ林創造事業への参加や、メキシコでは世界環境デーにちなんでアグアスカリエンテス州内の公園で植樹を行いました。中国の広州市では、工場近隣での植樹を実施し従業員同士のコミュニケーションの促進にもつながりました。

また日本では、毎年6月の環境月間に合わせ、富士市いまいづみ幼稚園のみなさまと一緒に、近隣の田宿川に鮎の稚魚を放流しています。1999年から始まったこの活動は、本社がある富士市を流れる田宿川の生態系の保護と、幼稚園のみなさまに環境意識を育んでほしいという思いで行われています。私たちは社会の一員として積極的に生物多様性保全に取り組んでいます。



日本
富士山麓ブナ林創造事業



メキシコ
アグアスカリエンテス州での植樹



中国
広州開発区での植樹



日本
アユの稚魚放流

富士市の「生物多様性ふじサポーター」に登録

富士市では豊かな生物多様性を将来にわたって維持していくための取組みとして、「生物多様性ふじサポーター登録制度」を設けています。ジャトコは法人サポーターとして登録し、市が実施する生物多様性保全に関する取組へ参加・協力することで、従業員の生物多様性への理解促進や積極的な富士市の生物多様性の保全への参画につなげていきます。

生物多様性ふじサポーター登録証	
本市における生物多様性の保全を推進していくため、 生物多様性ふじサポーターに登録します。	
登録年月日	令和6年8月1日
	富士市長 小長井 義正
登録番号	団-7
団体名	ジャトコ株式会社
地球のいのち、つないでいこう 生物多様性	

社会貢献活動

グローバルで12,297人が参加

ジャトコグループの社会貢献活動はグローバルに行われており、世界中でそれぞれの地域ニーズに合った活動に取り組んでいます。

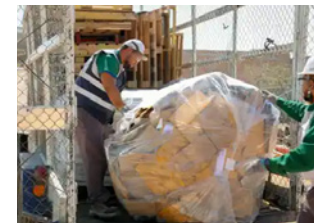
2023年度は、グローバル全体で12,297人の従業員が参加。「環境」「教育」「福祉」各分野でさまざまな活動を行いました。

活動事例（一例）

分野	参加人数	主な活動事例
日本	5459	絵本寄贈（幼稚園） キッズエンジニア（小学生） 教育講座 学校&企業訪問（小・中・高校生） 富士山クリーンルート3776清掃 電動車椅子サッカーサポート
メキシコ	3789	リサイクル資材を寄贈 市内コミュニティエリアの清掃 がんを患う子どもたちの治療支援 困窮者への物品配布
中国	472	キャリアプラン講座 地下鉄駅環境保護活動 植樹活動 動物園ボランティア
フランス	16	中古タイヤの寄付 中古PCの寄付 ランニング参加費の一部を慈善団体へ寄付
アメリカ	69	食料品配給ボランティア 子どもたちにおもちゃを配布
タイ	1831	献血 宝くじ寄付 飲料容器のリサイクル
韓国	661	プラスチックキャップのリサイクル 困窮者への無料給食配布 動物支援の為にタオル寄付



リサイクル品寄贈（ジャトコ メキシコ社）



地下鉄駅の環境保護活動
（ジャトコ（広州）自動変速機有限公司）



無料食料配布
（ジャトコ 韓国エンジニアリング社/韓国サービス社）



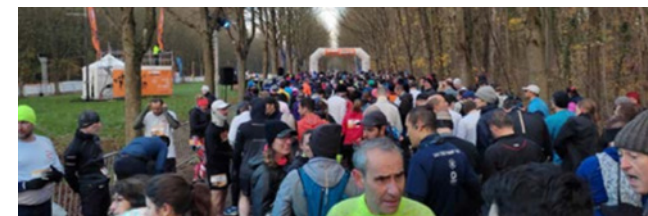
リサイクル品寄付（ジャトコ（蘇州）自動変速機有限公司）



飲料容器のリサイクル活動（ジャトコ タイランド社）



食料寄付（ジャトコ 米国会社）



ランニング参加費の一部を寄付（ジャトコ フランス社）